



昭和大学摂食・嚥下研究会後援

第2回東日本大震災支援チャリティー摂食・嚥下講習会

嚥下障害の臨床のコツをつかめ！！

～頸部聴診法から口腔機能改善装置まで～

(日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー：現在申請中)



昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔リハビリテーション医学部門 高橋 浩二
横山 薫
武井 良子

協力：昭和大学歯科病院
昭和大学病院

協賛：ヘルシーフード株式会社
インターリハ株式会社
ティーアンドケー株式会社

昨年に引き続き東日本大震災を支援するためチャリティー摂食・嚥下講習会を企画しました。昨年の講習会のアンケートに基づき、ご要望に応えるため「嚥下障害の臨床のコツをつかめ！！～頸部聴診法から口腔機能改善装置まで～」と題し、嚥下障害の臨床評価法のうち摂食中に行える唯一の方法である頸部聴診法については実習をまじえて詳しく解説し、口腔機能改善装置まで嚥下障害の臨床のコツを分かりやすくご紹介いたします。

嚥下障害の臨床では迷うことが多々あります。内視鏡などを用いて複雑で素早い嚥下運動と食物の流れを見ていると、「誤嚥なしで飲めること」が不思議に感じることも少なくありません。

臨床経験はどの医療分野でも重要ですが、「摩訶不思議な」嚥下を対象とするこの分野では、臨床経験は何事にも代えがたい宝で、明日の取り組みへの強力な武器となるのではないのでしょうか。多数の動画と解説を通じて私たちの臨床経験を共有しましょう。

なお、参加費はテキスト代など実習費を除き、東日本大震災摂食・嚥下障害者支援チーム（代表：藤島一郎先生）に寄付され、東日本大震災で被災された摂食・嚥下障害者の支援に用いられます。

日時：平成24年8月5日（日）10：00－16：30

場所：昭和大学病院入院棟地下一階臨床講堂

受講対象者：医師、歯科医師、言語聴覚士、看護師、歯科衛生士、
理学療法士、作業療法士

定員：200名（定員になり次第締め切ります）

参加費：7000円（実習代含む。釣銭の必要ないように当日準備いただければ幸いです。）

問い合わせ：昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科 伊原 良明

Mail: ikkun@dent.showa-u.ac.jp

Tel: 03-3787-1151(代表)

会場案内

〈最寄駅〉大井町線、池上線 旗の台駅
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
昭和大学病院入院棟地下一階臨床講堂



講演内容

高橋 浩二

「摂食・嚥下の臨床におけるこれまでの経験」(90分)

横山 薫

「頸部聴診法について」(90分)

武井 良子

「摂食・嚥下障害患者に適用する口腔機能改善装置について」

※講演内容の詳細などは随時当科 HP に掲載いたしますのでご覧ください。

昭和大学歯学部口腔リハビリテーション科 HP : <http://www.okuchidetaberu.com/>

講師略歴

高橋 浩二

昭和 58 年 昭和大学歯学部卒業

昭和 62 年 昭和大学大学院

平成 2 年 米国フロリダ州タンパ退役軍人病院臨床研究員 (Dr.Groher に師事)

平成 4 年 昭和大学歯学部第一口腔外科学教室 講師

平成 6 年 癌研究会病院頭頸科医員

平成 16 年 昭和大学歯学部口腔リハビリテーション科 科長、助教授

平成 19 年 昭和大学歯学部口腔リハビリテーション科 教授

平成 24 年 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門 教授

横山薫

平成 9 年 昭和大学歯学部卒業

平成 13 年 昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻系顎顔面外科学修了

平成 13 年 昭和大学歯学部第一口腔外科学教室 員外助手

平成 16 年 昭和大学歯学部口腔リハビリテーション科 員外助手

平成 18 年 昭和大学歯学部口腔リハビリテーション科 助手

平成 19 年 昭和大学歯学部口腔リハビリテーション科 助教

平成 20 年 昭和大学歯学部口腔リハビリテーション科 講師

平成 24 年 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門 講師

武井 良子

平成 14 年 プリティッシュコロロンビア大学文学部言語学科 卒業

平成 17 年 国立身体障害者リハビリテーションセンター学院言語聴覚学科 卒業

平成 17 年 さいたま市心身障害総合センターひまわり学園 勤務

平成 18 年 昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科 勤務



昭和大学歯科病院 口腔リハビリテーション科 伊原良明

Fax 03-3787-1229

第2回東日本大震災支援チャリティー摂食・嚥下講習会 参加申込書

平成24年8月5日(日) 10時00分～16時30分

ご施設名 _____ ご所属名 _____

ふりがな

ご氏名 _____ ご職種 _____

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士番号: _____ (対象の方のみご記入下さい)

〈連絡先〉ご住所 _____

〈連絡先〉お電話番号 _____ FAX _____

〈連絡先〉メールアドレス _____

締切 7月21日

※必要事項を全てご記入頂くようよろしくお願いいたします。

当日プログラム

9:30～ 受付開始

10:00～ 横山 薫

「頸部聴診法について」(90分)

摂食・嚥下障害の診断にはVF検査やVE検査が用いられますが、ベッドサイドあるいは在宅の往診ではこれらの検査を施行できない場合も多いと思います。このような時の摂食・嚥下障害のスクリーニング法として非常に有用なのが頸部聴診法です。本講演では、頸部聴診法の基礎と応用について実習や症例を供覧しながらご説明致します。

11:45～ 昼食

13:00～ 武井 良子

「摂食・嚥下障害患者に適用する口腔機能改善装置について」(90分)

口腔器官の形態変化や運動障害が原因となり、摂食・嚥下障害を生じた場合には、歯科的対応法のひとつとして顎義歯や舌接触補助床などの口腔機能改善装置が用いられます。本講演では、摂食・嚥下障害の改善に用いられる口腔機能改善装置を紹介し、言語聴覚士の立場から口腔機能改善装置を用いた摂食・嚥下リハビリテーションについて説明します。

15:00～ 高橋 浩二

「摂食・嚥下の臨床におけるこれまでの経験」(90分)

嚥下障害の臨床では迷うことが多々あります。内視鏡などで複雑で素早い嚥下運動と食物の流れを見ていると、「誤嚥しないで飲むこと」がむしろ不思議に感じることも少なくありません。臨床経験はどの医療分野でも重要ですが、「摩訶不思議な」嚥下を対象とするこの分野では、臨床経験は何事にも代えがたい宝であり、明日の取り組みへの強力な武器となるのではないのでしょうか。動画と解説を通じて私の臨床経験を共有しましょう。